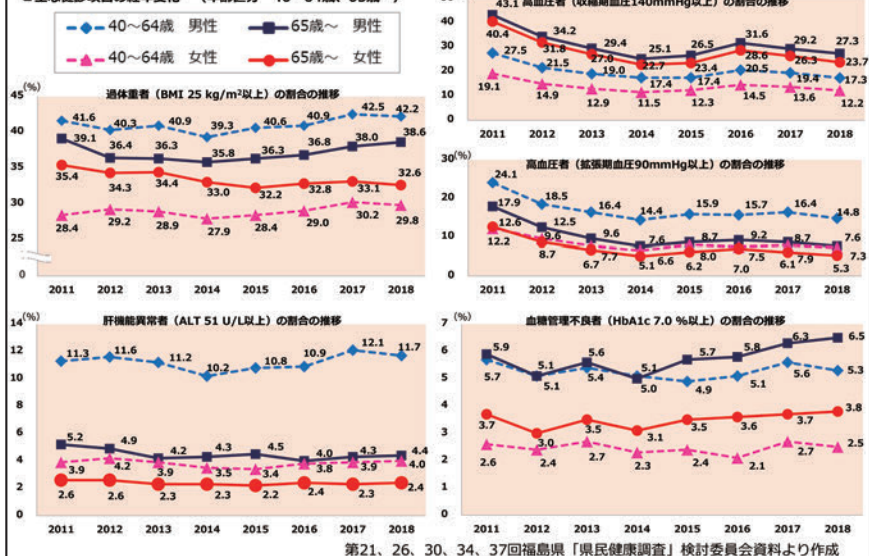


## ■主な健診項目の経年変化 (年齢区分 40～64歳、65歳～)



2011～2018年度に行った健康診査のうち、主な健診項目を経年比較しました。

## ●過体重者

BMIが25kg/m<sup>2</sup>以上の過体重者は、各年度とも女性と比較して男性の割合が高い結果になりました。各年度の推移をみると、65歳以上の女性では、2011年度から2015年度までは減少傾向でしたが、2016年度から2018年度では大きな変化がみられませんでした。

## ●高血圧者

収縮期血圧140mmHg以上の割合は、40歳以上の男女ともに、2011年度から2014年度まで減少傾向がみられました。2015年度から2016年度にかけては増加傾向がみられましたが、2018年度にかけては減少傾向がみられました。

拡張期血圧90mmHg以上の割合は、40歳以上の男女ともに、2011年度から2014年度まで減少傾向がみられましたが、2015年度以降は大きな変化はみられませんでした。

## ●肝機能異常者

ALT51 (U/L) 以上の肝機能異常者は、40～64歳男性で他に比べ高い割合ですが、全体的にはほぼ横ばいとなっています。

## ●血糖管理不良者

HbA1c7.0%以上の血糖管理不良者は、各年度とも女性に比べ男性の割合が高く、2011年度と2018年度を比較すると、65歳以上の男性で割合が高い結果になりました。

本資料への収録日：2016年3月31日

改訂日：2021年3月31日